

教育課程等の概要

<薬学研究科薬学専攻>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目	薬化学特論	1~4前		1		○									兼3	仏バ、隔年開講、集中	「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」履修者については、自由科目(1単位)とする。  「がん薬物療法を専門とする薬学研究科目(1単位)とする。」	
	薬品化学特論	1~4前		1		○									兼2	仏バ、隔年開講、集中		
	薬品製造学特論	1~4前		1		○			1	1	1							仏バ、隔年開講、集中
	代謝分析学特論	1~4前		1		○			1	1								仏バ、隔年開講、集中
	薬品分析学特論	1~4前		1		○			1	1								仏バ、隔年開講、集中
	生物物理化学特論	1~4前		1		○									兼3	仏バ、隔年開講、集中		
	生薬学特論	1~4前		1		○									兼3	仏バ、隔年開講、集中		
	公衆衛生学特論	1~4前		1		○									兼2	仏バ、隔年開講、集中		
	衛生化学特論	1~4前		1		○			1			2						仏バ、隔年開講、集中
	生化学特論	1~4前		1		○				1		1						仏バ、隔年開講、集中
	感染制御学特論	1~4前		1		○			1			1						仏バ、隔年開講、集中
	臨床薬学特論	1~4前		1		○			1		1							仏バ、隔年開講、集中
	薬物治療学特論	1~4前		1		○			1	1		1						仏バ、隔年開講、集中
	病態生化学特論	1~4前		1		○			1		1							仏バ、隔年開講、集中
	病態生理学特論	1~4前		1		○			1	1		1						仏バ、隔年開講、集中
	薬理学特論	1~4前		1		○			1	1		1						仏バ、隔年開講、集中
	臨床薬物動態学特論	1~4前		1		○			1		1							仏バ、隔年開講、集中
	薬剤学特論	1~4前		1		○			1	1								仏バ、隔年開講、集中
	細胞生物学特論	1~4前		1		○			1			1						仏バ、隔年開講、集中
	臨床医科学特論	1~4前		1		○			1	1								仏バ、隔年開講、集中
	臨床腫瘍学特論	1~4前		1		○			1			1						仏バ、隔年開講、集中
	医薬品評価科学特論	1~4前		1		○			1		1							仏バ、隔年開講、集中
	創薬腫瘍科学特論	1~4前		1		○			1						兼3	仏バ、隔年開講、集中		
	腫瘍細胞生物学特論	1~4前		1		○			1			1						仏バ、隔年開講、集中
	腫瘍薬剤学特論	1~4前		1		○			1		1				兼1	仏バ、隔年開講、集中		
小計(25科目)	-		0	25	0				19	6	8	10	-					
総合薬学セミナー	1~4通		2				○		16	6	7	12		兼13				
薬学研究演習	1~4通		4				○		16	6				兼7				
課題研究	1~4通		20				○		16	6				兼7				
小計(3科目)	-		26	0	0				16	6	7	12	-					
合計(28科目)	-		26	25	0				16	6	7	12	-					
学位又は称号	博士(薬学)		学位又は学科の分野			薬学												
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
当該課程に4年以上在学し、研究指導を受け、課題研究20単位および薬学研究演習4単位のほか、特論6単位以上(「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」履修者は必修6単位)および総合薬学セミナー2単位の計32単位以上を修得し、かつ、博士学位論文の審査および最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を上げたと研究科教授会が認めた場合は、同課程に3年以上在学すれば足りるものとする。									1学年の学期区分				2期					
									1学期の授業期間				15週					
									1時限の授業時間				90分					